

令和6年度第1回福井県立図書館運営懇話会 開催結果

日 時 令和6年10月29日（金） 15:00～16:20

場 所 県立図書館 2F大会議室

出席者 （委員）乾孝子委員、黒川照太委員、佐藤実紀代委員、塩出周子委員、徳島泰彦委員、長岡亜生委員、橋本ユミ子委員、宮下奈都委員
（事務局）県立図書館

議事（1）令和6年度の状況について

- ・利用状況
- ・上半期の取組と達成状況（図書館）
- ・上半期の取組と達成状況（ふるさと文学館）

（2）その他

- ・新システムについて
- ・電子書籍サービスについて
- ・書店・図書館の連携について

（主なご意見・ご質問）

- ・利用者減の理由はよくわからないとのことであったが、バスの減便もあり、どんなものが影響して利用者減につながっているのか、いろんな角度からみてほしい。
- ・蔵書冊数が、全国でも上位であるが、資料費の予算は、全国我真ん中より下。資料費が少ないのに、どうして、こんなに蔵書数が多いのか？また、今後、蔵書冊数を維持できる見通しなのか？
- ・受入対象の電子図書のコンテンツの内容について、ビジネス、医療健康を対象とすることだが、電子図書館サービスで提供できるのは出版から2、3年後となるとのこと。ビジネス、医療健康を対象とするとデータ自体が古いのではないのか？書籍の3、4倍のお金をかけて導入する意味があるのか？
- ・中学生向けの企画をシリーズ化して、中学生を呼び込んでいただき、ひとつの拠点になるようなことを検討していただきたい。
- ・本屋さん、本屋にきてもらうきっかけに、なりふりかまっていられない状況であり、利用者のニーズを前向きにとらえてサービス展開している。皆さんも、人々が、本屋にいったって何をしているかを見て欲しい。